

論文名：(国)473号の舗装新設工事に携わって

会社名：静和工業株式会社
氏名：新海 隆

1. 工事概要

工事名	平成21年度[第21-I8030-01号] (国)473号舗装新設(地域連携2A)地域高規格工事(舗装工第2工区)		
路線名	(国)473号		
工事箇所	静岡県牧之原市西萩間地内		
工期	自)平成22年2月9日 至)平成22年6月30日		
発注者	静岡県島田土木事務所		
工事内容	施工延長 1,026m		
	車道舗装工 8,800m ²		
	ランプ舗装工 3,500m ²	アスカーブ工 640m	
	路肩舗装工 3,200m ²	ガードレール工 1,240m	

2. 工事特性

【地質特性】

- ・施工箇所は、シルト質路床上部の改良処理が行われ、粉塵が発生しやすい地質である。

【地形特性】

- ・牧之原台地の南側に在り、1月から6月にかけて、西の季節風 平均風速2.1m/s以上、平均最大風速9.5m/sの非常に強い風が吹く地域である。(菊川牧之原測候所2009年データ)

【環境特性】

- ・国道473号バイパス出入口付近には、社会福祉法人相良清風園ほか萩間保育園、子生まれ温泉会館など牧之原西萩間地区の重要な福祉、教育、観光施設が存在する地域である。

【地域特性】

- ・国内有数のお茶の生産地であり、4月末日より1番茶、6月中旬より2番茶の収穫が各2週間程度行われる。
- ・毎年地元の福一萬神社では、秋の収穫祭が10月に開催される。
- ・地元小学生は、萩間小学校へ徒歩で通学し、中学生は相良中学校へ自転車で通学している。

【交通状況】

- ・国道473号道路は、鈴木自動車相良工場への通勤道路であるため、関係車両の通行が、朝、夕の時間帯に集中する。
- 又、国道473号バイパスを通行し御前崎港に水揚げされる水産物や貿易資材を、大型車両にて運搬する重要運搬道路である。

3. 施工上の留意点と対策

【留意点】

前項の工事特性を総合的に判断した結果、隣接田畑への環境対策が最重要と判断し、現場にて下記の対策を講じた。

【隣接田畑への環境対策】

①環境対応型粉塵防止剤の散布

- ・茶摘み前の4月月中旬において下層路盤未施工箇所には、植物原料の粉塵防止剤（フライネットR）を散布した。
- ・土壌粒子の結合が図られ、土壌汚染の心配がなくセメント改良土の周辺への飛散抑制が可能となる。



②バッテリー式スイーパーによる道路清掃の実施

- ・国道473号工事車両出入口付近から、工事区域出入口までのアスファルト舗装区間で汚れた箇所を清掃した。
- ・工事用道路をバッテリー式スイーパーで清掃することにより、隣接田畑周辺道路に蓄積した埃の撤去が可能となり粉塵発生を抑制した。



③散水車による散水の実施

- ・国道473号工事車両出入口付近から、工事区域出入口までのアスファルト舗装区間を散水車にて散水し、粉塵発生を抑制した。

④速度制限の厳守

- ・工事車両による粉塵の発生が予想されたため、473号出入口付近では、一般車両を優先し、かつ低速走行(20km/h以下)で環境対策に努めた。
- ・工事区域内は20km/h以下の速度を厳守し、隣接田畑周辺道路への粉塵発生を抑制した。

4. まとめ

本工事は、新設道路舗装工事であり、未供用箇所での施工であったため、他の舗装工事と比較すると、施工環境は恵まれていましたが、工事特性を総合的に判断し、隣接田畑への環境対策は重要であると判断し対応、対策を講じました。

結果、地域住民及び関係機関からの苦情ありませんでした。今後も周辺環境への配慮を忘れずに、現場施工を行っていきたいと思います。